

ふりがな 氏 名	とおやま よしはる 遠山 佳治		職 名	教授 (短期大学部部长<平成 22 年度~>、 保育学科長<平成 20 年度~>、短期大学 基準協会:ALO<平成 17~令和 4 年度 >、評価員<平成 24~26、平成 30~令和 4 年度>、愛知県現任保育士運営協議会 理事、常務理事、副会長<平成 27年度 ~、平成 31 年度~、令和 3 年度~>)
取得学位	博士(歴史学)	学会での受賞歴		
主な担当科目	歴史の視点、歴史に学ぶ、保育者養成講座			
所属学会	日本歴史学会、史学会、地方史研究協議会、信濃史学会、日本風俗史学会(評議員:平成 19 年 4 月~平成 25 年 3 月、理事:平成 15 年 4 月~平成 19 年 3 月・平成 25 年 4 月~、中部支部役員:平成 7 年 4 月~、中部支部長:平成 25 年 4 月~)、大学教育学会、高等教育質保証学会			

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
名古屋女子大学総合科学研究所機関研究「大学における効果的な授業法の研究 8 本学におけるアクティブ・ラーニングの開発」の研究者として活動	平成 30 年 4 月~令和 2 年 3 月	平成 30 年度から 3 年間行われる本学の総合科学研究所機関研究の研究者を勤めている。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発行・ 発表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	愛知県史 通史編 近世2	共	平成 31 年 3 月 29 日	愛知県 / 総頁数 728	平成 6 年に着手した愛知県史編纂事業の成果。江戸時代後期から明治 4 年までの尾張・三河の近世社会を描いたもの。第 7 章「維新期の様相」の第 3 節「変革期の社会」を執筆(P666-675)。
論 文	東海地域における肉料理・肉食文化の歴史的展開の一考察	単	平成 31 年 3 月 10 日	名古屋女子大学紀要(人文・社会編)、65 号	p. 335-347。東海地域における食肉のブランド展開、名古屋めしの原点「どて煮」の誕生、鶏肉文化の高級化と大衆化などの視点で検討したもの。
	大学における効果的な授業法7— 学生が主体的に学修する力を身につけるための教育方法の開発	共	令和元年 5 月 31 日	総合科学研究、13 号	p.2-6・47、単著で担当(はじめに、第 1 章『主体的な学び』のための教育をめぐる全国的動向、おわりに)。総合科学研究所機関研究(平成 27~29 年度)成果。市村由貴・佐々木基裕・渋谷寿・白井靖敏・杉原央樹・竹内正裕・遠山佳治(代表)・豊永洵

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
論文	東海地域の産業から見た菓子文化の歴史民俗学的考察	単	令和2年3月20日	和菓子(虎屋文庫研究紀要)、27号	子・羽澄直子・服部幹雄・原田妙子・野内友規・山田勝洋・三宅元子・吉川直志。 p.97-113、東海地域の菓子文化を、各産業(農業・漁業・醸造業・観光業等)を視点として体系的にまとめ、東海地域の特徴を分析したもの。
	愛知県における女子高等教育の戦前から戦後への継承—女子高等女学校・女子専門学校から短期大学へ—名古屋女学院短期大学・名古屋女子大学短期大学部を中心に	単	令和2年5月31日	総合科学研究、13号	p.4-8、名古屋女学院短期大学・名古屋女子大学短期大学部を中心として、戦後から戦後にかけて愛知県の女子高等教育の変遷を概観したもの。
	東海地域における魚介食文化の歴史的展開の一考察	単	令和3年3月10日	名古屋女子大学紀要(人文・社会編)、67号	p. 193-204。東海地域において漁獲される魚介類と、それを駆使した魚介文化(ひつまぶし、ちくわなど)について、歴史的な展開の視点で検討したもの。
	東海地域の農産物(野菜類・穀類)からみた食文化の歴史的展開の一考察	単	令和4年3月10日	名古屋女子大学紀要(人文・社会編)、68号	p. 165-178。東海地域において生産される野菜類・穀類と、それを使用した食文化(漬物、ケチャップなど)について、歴史的な展開の視点で検討したもの。
	江戸時代後期三河における東本願寺派宗学体制の一考察—暮戸会所や三河御法会の動向に触れて	単	令和5年3月29日	愛知県公文書館研究紀要、増刊号	P.51-64。江戸時代後期の三河において、東本願寺本山の宗学組織との関連性を視野に入れながら、三河における宗学体制を築き上げていくかていをめいかくにし、暮戸会所争論屋大浜騒動の背景を探ったもの。
	東海地域の農産物(茶・果実類)からみた食文化の歴史的展開の一考察	単	令和5年3月10日	名古屋女子大学紀要(人文・社会編)、69号	P.185-197。東海地域において生産される茶・果実類と、それを使用した食文化(抹茶・紅茶など)について、歴史的な展開の視点で検討したもの。

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
学会発表	風俗史にみる宗教史・信仰史分野 の現状そして課題・展望(口頭発表)	単	令和4年2 月11日	第61回日本風俗史学会 大会(オンライン開催)	日本風俗史学会設立60周年特別 企画リレートーク「新時代の風 俗史研究」として発表したもの。
そ の 他 (報告書)	本学園教員への聞き取り調査につ いて(報告1)	共	平成30年 5月31日	総合科学研究、12号	p.37-38。総合科学研究所機関 研究(平成28～31年度)成果。
	本学園教員への聞き取り調査につ いて(報告2)	共	令和元年 5月31日	総合科学研究、13号	p.88-90。総合科学研究所機関 研究(平成28～令和元年度)成 果。
	本学園教員への聞き取り調査につ いて(報告3)	共	令和2年 5月31日	総合科学研究、14号	p.88-90。総合科学研究所機関 研究(平成28～令和元年度)成 果。
	リレートーク「新時代の風俗史研 究」ー風俗史に見る宗教史・信仰 史分野の現状そして課題・展望	単	令和4年9 月30日	風俗史学、75号	P.22-23。日本風俗史学会設立 60周年記念特別企画のリレー トーク「新時代の風俗史研究」で、 風俗史に見る宗教史・信仰史分 野の現状そして課題・展望として 口頭発表したものの要旨を掲 載。
愛知の食文化の特質を探る!	単	令和5年2 月22日	食品の包装(包装食品技 術協会)、第54巻第2号	P.30-35。愛知県の食文化の特 色である、八丁味噌、尾張大 根、アサリ、菓子文化を取り上 げ、食文化にモノづくり精神が 活かされていることを説いたも の。	